

電材流通新聞

(昭和54年12月31日第三種郵便物認可)

第2378号

2021年(令和3年)11月11日(木曜日)(毎週木曜日発行)

発行所
電材流通新聞社
大阪本社/大阪市北区天神橋5丁目
8番12号 ☎06(6352)5841番代
FAX 06(6357)7348
東京支社/東京都港区新橋5丁目7番8号
(永井ビル3階) ☎03(3434)8878番代
FAX 03(3434)0346
http://www.denzai-ryutu.co.jp/
発行人
山田 剛

23回目を迎える「配線器具の日」11月11日

第23回「配線器具の日」に寄せて

株式会社明工社・明工商事株式会社・
株式会社福島明工社

代表取締役社長 川村 龍俊



整に入らざるを得なくな
って、それでも未来のた
めに絶対にレイオフはし
ないと決め、結局仕事時
間を短縮して社員教育に
充てたのでした。

コロナ禍で苦しいのは
りの司会者を立てて、ゼ
営業です。お客様に直に
ミを開いてもらいました。
会えないなら、かつて工
場の行ったように勉強に
が話した「今後自分ほど
時間を短縮したいと思っ
いたところ、この春、全
くしていか」という意
日本電設資材卸業協同組
合連合会から「当たり前
とに目標として設定し、
を「当たり前」という
来年度からPDCAサイ
クルを回してもらう段取
りになっています。

「当たり前」一から見直す

コロナ禍で思うように
仕事が進められなくなっ
てから、この状況は何か
に似ていると考えていた
ところ、そうか、リーマ
ンショックだ、と思い至
ったのが昨年の秋頃のと
と。

コロナ禍で思うように
仕事が進められなくなっ
てから、この状況は何か
に似ていると考えていた
ところ、そうか、リーマ
ンショックだ、と思い至
ったのが昨年の秋頃のと
と。

「当たり前」だから考
え直すこともなかった仕
事の細部を、コロナ禍で
「当たり前」が揺らいだ
ため(！)、絶妙のタイミ
ングで、一から見直すこ
とができました。

当時、工場では生産調
成するというものでした。

そのときの課題は、技
術力の向上はもちろんで
すが、それよりも、上か
らの命令でなく、社員自
らが会社を継続していく
とがありません。

そうそう、配線器具の
日にはコンセントの点検
をする、これも今や「当
たり前」ですよ。